

2017年度東京都高体連柔道専門部第四支部

各大会について

- 畳敷き担当校
- シード校山型、都大会出場最終決定戦
- 抽選及び試合方法
- 役割担当表

東京都高体連柔道専門部第四支部

【各支部大会設営・撤去担当校】

| | | |
|--------------------------------|-------------|------------|
| 関東予選 団体 | 4月22日(土) | 日野ふれあいホール |
| 東海大菅生・藤村女子・拝島・羽村・大成(責任者:赤澤) | | |
| 関東予選 個人 | 4月23日(日) | 日本大学第三高等学校 |
| 日大三(責任者:今井) | | |
| インター予選 団体 | 5月14日(土) | 多摩市武道館 |
| 穎明館・藤村女子・拝島・日野・桐朋(責任者:原澤) | | |
| インター予選 個人 | 5月20日(土) | 日野ふれあいホール |
| 八王子実践・拝島・成瀬・昭和第一・東京電大高(責任者:青砥) | | |
| 支部強化練習会 | 8月下旬 | 未定 |
| (責任者:参加校引率教員) | | |
| 学年別 | 9月18日(月・祝) | 日野ふれあいホール |
| 穎明館・藤村女子・拝島・秋留台・帝京八王子(責任者:原澤) | | |
| 新人戦個人・団体 | 11月23日(木・祝) | 日野ふれあいホール |
| 八王子実践・藤村女子・拝島・福生・八王子学園(責任者:青砥) | | |
| 選手権 個人 | 1月13日(土) | 日野ふれあいホール |
| 東海大菅生・拝島・東大和南・玉川学園・成蹊(責任者:赤澤) | | |
| 選手権 団体 | 1月14日(祝) | 日野ふれあいホール |
| 工学院・拝島・羽村・明大明治(責任者:青木) | | |

【関東大会東京都第四支部予選会】

男子団体戦（都大会12校出場）【推薦校を除く】

◎抽選方法

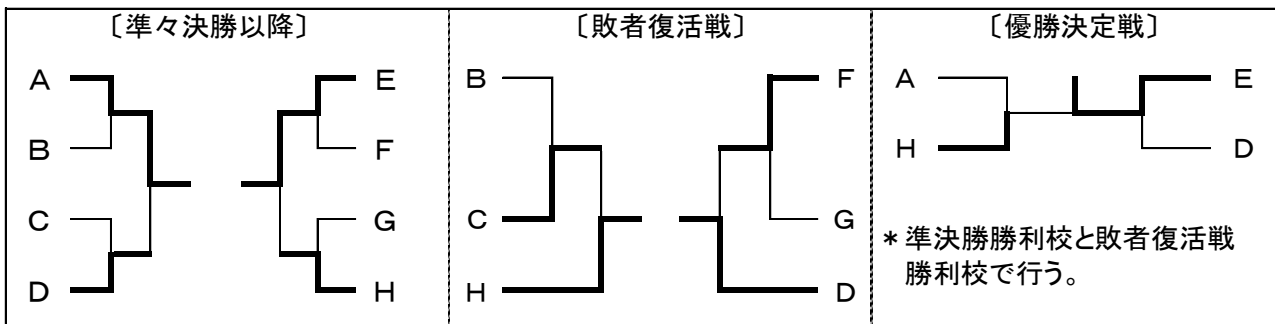
※推薦校がある場合は前記を参照のうえ抽選を行う事。

H28年度全国高校柔道選手権大会東京都第四支部予選会の結果を参考にする。

- I：選手権第四支部予選1位～4位が第1シード枠～第4シード枠に入る。
- II：選手権第四支部予選ベスト8の4校が予備抽選後に本抽選を行い、それぞれの番号に従って第5～第8シード枠に入る。
- III：選手権第四支部予選都大会出場決定戦で勝利した4校が予備抽選後に本抽選を行い、それぞれの番号に従って第9～12シード枠に入る。
- IV：上記12校以外の参加校で予備抽選後に本抽選を行い、それぞれの番号に従って残りの枠に入る。

◎試合方法：

- I：1チーム5名の「点取り試合」とする。編成は先鋒・次鋒・中堅は軽量級（73kg以下）副将・大将は無差別、補欠2名（軽量級1名・無差別1名）の合計7名とする。
- II：無差別級は計量をしない。
- III：試合はトーナメント戦、**敗者復活戦方式**で実施。
 1. 準々決勝戦（ベスト8決定）まで試合を行う。
 2. ベスト16で敗退した8校により都大会出場決定戦を行う。
 3. 準決勝戦まで行い、敗者復活戦、優勝決定戦の順に試合を行う。



◎その他：

- I：試合結果は次回大会（インターハイ支部予選）のシード枠に反映される。
- II：1チーム5人に満たない場合、体重区分に従っていれば選手の並びは自由に配列できる。

（前詰め等の規制なし）

女子団体戦（オープン参加）【推薦校は除く】

◎抽選方法

過去大会を参考に競技委員の責任抽選とする。（参加校数により抽選を行う場合あり）。

◎試合方法

I：1チーム3名の「点取り試合」とする。編成は、先鋒・中堅は軽量級（57kg以下）、大将は無差別、補欠2名（軽量級1名、無差別1名）の合計5名とする。

II：無差別は計量をしない。

III：出場校数によりトーナメント戦及びリーグ戦のいずれかで試合を行う。

IV：3位決定戦を行う。

◎その他

3人に満たない場合、**上記体重区分に従って配列**する。（前、後詰めはしない）

男子個人戦（都大会12名出場）【同一校からは2名】

◎実施階級

男子…1階級（無差別）

55kg級（東京ジュニア予選） **※有段者に限る。**

◎抽選方法

I：競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

II：同一校の同階級へのエントリー数は8名までとする。

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。出場人数によってはリーグ戦で行う。

◎その他

白帯同士をできる限り一回戦で対戦させる教育的配慮を行う。

1：エントリーが17名以上の場合のみ検討する。

2：同一校2名を考慮する。

女子個人戦（オープン参加）【各階級同一校からは2名】

◎実施階級

女子…7階級（48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超）

◎抽選方法

I：競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

II：同一校の同階級へのエントリー数の制限を設けない。

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。出場人数によってはリーグ戦で行う。

◎その他

白帯同士をできる限り一回戦で対戦させる教育的配慮を行う。

1：エントリーが17名以上の場合のみ検討する。

2：同一校2名を考慮する。

【全国高等学校総合体育大会東京都第四支部予選会】

男子団体戦（都大会12校出場）【推薦校を除く】

◎抽選方法

※推薦校がある場合は前記を参照のうえ抽選を行う事。

前回大会（関東大会東京都第四支部予選会）の結果を参考に**指名制**で実施

- I：関東大会第四支部予選1位～4位がそれぞれシード枠に入る。
- II：関東大会第四支部予選ベスト8の4校が予備抽選後に本抽選を行い、その抽選順位に従って第5～第8シード枠のいずれかに指名をして入る。
- III：関東大会第四支部予選都大会出場決定戦で勝利した4校が予備抽選後に本抽選を行いその優先順位に従って第9～12シード枠のいずれかに指名をして入る。
- IV：上記12校以外の参加校で予備抽選後に本抽選を行い、抽選順位に従って残りの枠に指名をして入る。

◎試合方法

- I：1チーム5名の「点取り試合」とする。編成は、選手5名、補欠1名の合計6名とする。
- II：試合はトーナメント戦で実施する。
 - 1. 準々決勝戦（ベスト8決定）まで試合を行う。
 - 2. ベスト16で敗退した8校により都大会出場決定戦を行う。
 - 3. 準々決勝戦から決勝戦まで行う。
 - 4. 3位決定戦を行う。

◎その他：

- I：試合結果は次回大会（学年別支部予選1学年の部、及び2学年の部）に反映される。
- II：1チーム5人に満たない場合、**配列は自由とする**。

女子団体戦（オープン参加）【推薦校を除く】

◎抽選方法

過去大会を参考に競技委員の責任抽選とする。（参加校数により抽選を行う場合あり）

◎試合方法

- I：1チーム3名の「点取り試合」とする。編成は選手3名、補欠1名の合計4名とする。
- II：トーナメント戦で試合を行う。
- III：3位決定戦を行う。

◎その他

3人に満たない場合、**後ろ詰め**で配列する。（先鋒を不戦とする）

男子個人戦（都大会各階級12名出場）【同一校2名】

◎実施階級

男子…7階級（60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg超）

◎抽選方法

I：競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

II：同一校の同階級へのエントリー数は8名までとする。

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。

◎その他

白帯同士をできる限り一回戦で対戦させる教育的配慮を行う。

1：エントリーが17名以上の場合のみ検討する。

2：同一校2名を考慮する。

女子個人戦【同一校2名】

◎実施階級

女子…7階級（48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg超）

◎その他

都大会オープン参加のため、支部予選は実施しない。

【東京都学年別柔道大会第四支部予選会】

男子団体戦（都大会12校出場）【推薦校は除く】

◎抽選方法

※推薦校がある場合は前記を参照のうえ抽選を行う事。

1、2学年共に、昨年度学年別大会1学年の部の結果を参考に実施。ただし1学年の部は指名制で実施、2学年の部は抽選によって実施する。

1 学年の部

- I：H28年度学年別第四支部予選、1学年の部1位～4位がそれぞれのシード枠に入る。
- II：H28年度学年別第四支部予選、1学年の部ベスト8の4校が予備抽選後に本抽選を行い、その抽選順位に従って第5～第8シード枠のいずれかに指名をして入る。
- III：H28年度学年別第四支部予選、1学年の部出場決定戦で勝利した4校が予備抽選後に本抽選を行い、その優先順位に従って第9～12シード枠のいずれかに指名をして入る。
- IV：上記12校以外の参加校で予備抽選後に本抽選を行い、抽選順位に従って残りの枠に指名をして入る。

2 学年の部

- I：H28年度学年別第四支部予選1学年の部1位～4位がそれぞれのシード枠に入る。
- II：H26年度学年別第四支部予選ベスト8の4校が予備抽選後に本抽選を行い、その抽選順位に従って第5～第8シード枠のいずれかに入る。
- III：H26年度学年別第四支部予選1学年の部、都大会出場決定戦で勝利した4校が予備抽選後に本抽選を行いその優先順位に従って第9～12シード枠のいずれかに入る。
- IV：上記12校以外の参加校で予備抽選後に本抽選を行い、抽選順位に従って残りの枠に入る。

◎試合方法

- I：1チーム3名の「点取り試合」とする。編成は選手5名とする。
- II：オーダーの変更は毎回認められ、試合はトーナメント戦で実施する。
 - 1. 準々決勝戦（ベスト8決定）まで試合を行う。
 - 2. ベスト16で敗退した8校により都大会出場決定戦を行う。
 - 3. 準々決勝戦から決勝戦まで行う。
 - 4. 3位決定戦を行う。

◎その他

- I：**1学年の部の試合結果は、来年度学年別大会**に反映される。
- II：1チーム3人に満たない場合、**前詰め**での配列とする。（大将を不戦とする）
- III：試合方法は1学年の部、2学年の部同様に実施する。
- IV：3年男子団体戦は、都大会オープン参加のために支部予選は実施しない。

女子個人戦（オープン参加）

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

◎実施階級

I：1学年の部・2学年の部を行う。

II：3階級（52kg・63kg・63kg超）を行う。

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。出場人数によってはリーグ戦で行う。

◎その他

I：各階級オープン参加とする（同一校からの出場制限を設けない）。但し、支部推薦選手を決定するため、支部大会への参加を要する。

II：3学年の部（57kg以下級・57kg超級）は支部予選を行わない。

【東京都第四支部新人大会】

男子団体戦（選手権の部）

◎抽選方法

※推薦校がある場合は前記を参照のうえ抽選を行う事。

前大会(学年別第四支部予選会)の結果を参考に実施する。ただし、2学年の部の結果を優遇する。
また、指名制で行う。

- I：学年別支部予選で2学年の部優勝校を第1シードとする。
- II：学年別支部予選で1年生の部優勝校。または、2学年の部2位校を第2シードとする。
- III：学年別支部予選で1年生の部2位校。または、2学年の部で3位校2チームの場合は抽選で第3シードを決定する。
- IV：IIIで抽選に漏れた2学年の部3位校。または、1学年の部3位校2校の場合は抽選で第4シードを決定する。
- IV：学年別支部予選で1年生の部3位校は抽選で第5～6シードを抽選で決定する
- V：上記校以外の参加校は予備抽選後に本抽選を行い、抽選**指名制**で残りの枠に入る。

◎試合方法

1チーム5名で「点取り試合」とする。編成は選手5名、補欠1名の合計6名とする。

3名以上の編成とし、1校でエントリーできるのは1チームのみとする。

試合はトーナメント戦で実施する。

◎その他

- I：補欠の欠員については、「**体重順の部**」に登録した選手か登録していない選手で補う。
- II：変更については、当日の受付で選手変更届をもって申し出る事。なお、試合開始後の変更はみとめない。
- III：試合結果（ベスト8以上進出校）は次回大会（選手権支部予選）に反映される。
- IV：1チーム5人に満たない場合、**前詰め**での配列とする。
（4人であれば大将、3人であれば大将と副将が不戦とする）
- IV：3位決定戦を行う。

男子団体戦（体重順）

◎抽選方法

参加校全てでのフリー抽選とする。ただし、同一校から2チーム以上参加の場合は、ブロックを分けて配置する。

◎試合方法

- I：1チーム3名で「点取り試合」とする。編成は選手3名、補欠1名の合計4名とする。
- II：先鋒から体重の軽い順にオーダーを組む事。

2名以上の編成とし、1校でエントリーできるのはチーム数に制限は設けない。

試合はトーナメント戦で実施する。

◎その他

I：1チーム3人に満たない場合、**後詰め**での配列とする。(先鋒を不戦とする)

II：**変更については、当日の受付で選手変更届をもって申し出る事。なお、試合開始後の変更はみとめない。**

女子団体戦

◎抽選方法

過去大会を参考に競技委員の責任抽選とする。(参加校数により抽選を行う場合あり)

◎試合方法

I：1チーム3名の「点取り試合」とする。編成は選手3名、補欠1名の合計4名とする。

II：先鋒から体重の軽い順にオーダーを組む事。

III：出場校数によりトーナメント戦及びリーグ戦のいずれかで試合を行う。

◎その他

3人に満たない場合、**後ろ詰め**で配列する。(先鋒を不戦とする)

男子個人戦

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

◎実施階級

有段の部は、7階級(60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg超)

◎試合方法

I：トーナメント戦で試合を行う。

II：無段の選手も出場可能。

男子個人戦無段の部

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。

◎実施階級

2階級(66kg・66kg超) ※H29度検討予定

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。

女子個人戦

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

◎実施階級

有段の部は、2階級(52kg・52kg超)のトーナメント戦を行う。

無段の部は、無差別のトーナメント戦を行う。

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。

【全国高等学校柔道選手権大会東京都第四支部予選会】

男子団体戦（都大会12校出場）【推薦校を除く】

◎抽選方法

※推薦校がある場合は前記を参照のうえ抽選を行う事。

前回大会（第四支部新人戦選手権の部）の結果を参考に**指名制**で実施する。

- I：新人戦1位、2位がそれぞれ第1シード枠、第2シード枠に入る。
- II：新人戦3位の2校が予備抽選（抽選順番決め）後に本抽選を行い、その抽選順位に従って第3、第4シード枠のいずれかに指名をして入る。
- III：新人戦ベスト8の4校が予備抽選後に本抽選を行い、その抽選順位に従って第5～第8シード枠のいずれかに指名をして入る。
- IV：上記8校以外の参加校で予備抽選後に本抽選を行い、抽選順位に従って残りの枠に指名をして入る。

◎試合方法

試合はトーナメント戦で実施する。

- 1. 準々決勝戦（ベスト8決定）まで試合を行う。
- 2. ベスト16で敗退した8校により都大会出場決定戦を行う。
- 3. 準々決勝戦から決勝戦まで行う。

◎その他

- I：試合結果は次回大会（次年度関東大会第四支部予選）に反映される。
- II：1チーム5人に満たない場合、**後ろ詰め**での配列とする。
（4人であれば大将、3人であれば大将と副将が不戦とする）
- III：3位決定戦を行う。

女子団体戦（オープン参加）【推薦校を除く】

◎抽選方法

過去大会を参考に競技委員の責任抽選とする。（参加校数により抽選を行う場合あり）

◎試合方法

- I：1チーム3名の「点取り試合」とする。編成は先鋒が52kg以下、中堅が63kg以下、大将が無差別、補欠2名の合計6名とする。
- II：3人に満たない場合、体重区分に従って配列する。
- III：トーナメント戦で試合を行う。

男子個人戦（都大会各階級12名出場）【同一校2名】

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

◎実施階級

5階級（60kg・66kg・73kg・81kg・無差別）

◎試合方法

I：トーナメント戦で試合を行う。

II：同一校の同階級へのエントリー数は8名までとする。

◎その他

白帯同士をできる限り一回戦で対戦させる教育的配慮を行う。

女子個人戦（オープン参加）【同一校2名】

◎抽選方法

競技委員の責任抽選とする。シード枠については前回大会、過去大会を参考とする。

◎実施階級

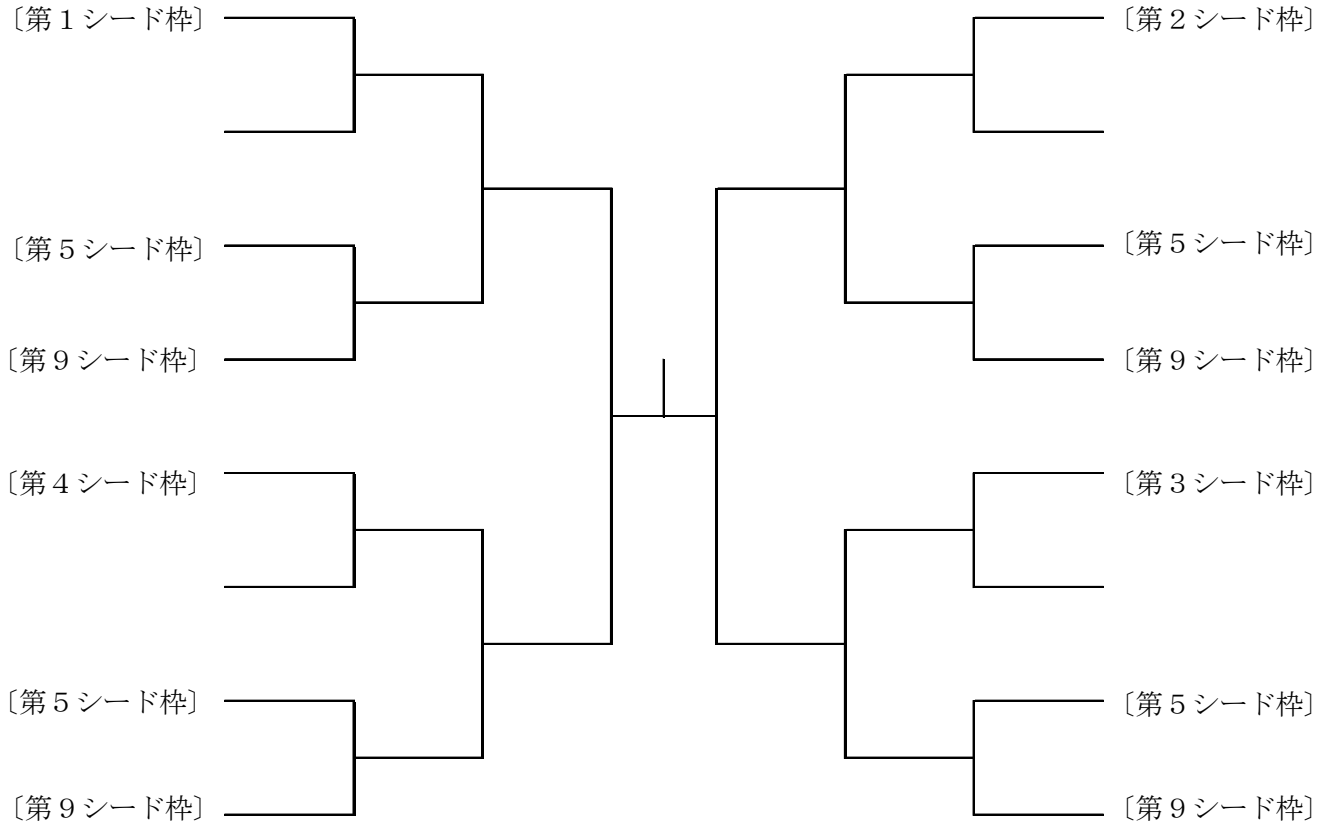
5階級（48kg・52kg・57kg・無差別）

◎試合方法

トーナメント戦で試合を行う。

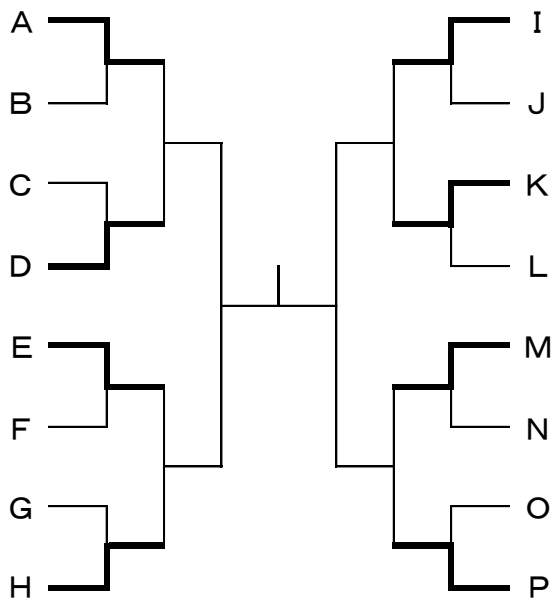
【男子団体戦シード枠】

* ベスト16の山型を参考

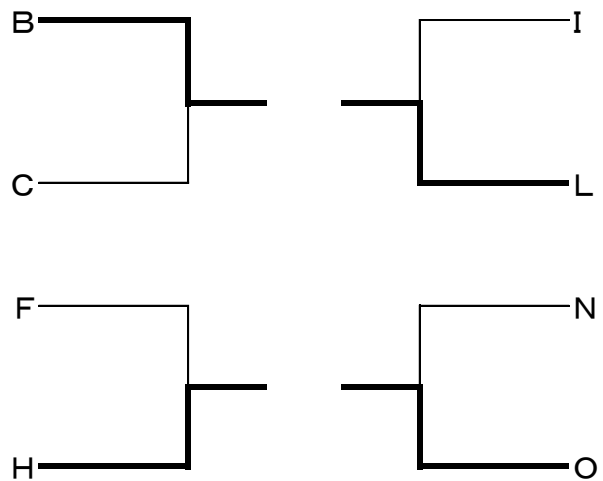


【都大会出場決定戦方法】

【ベスト16以降の勝上がり】



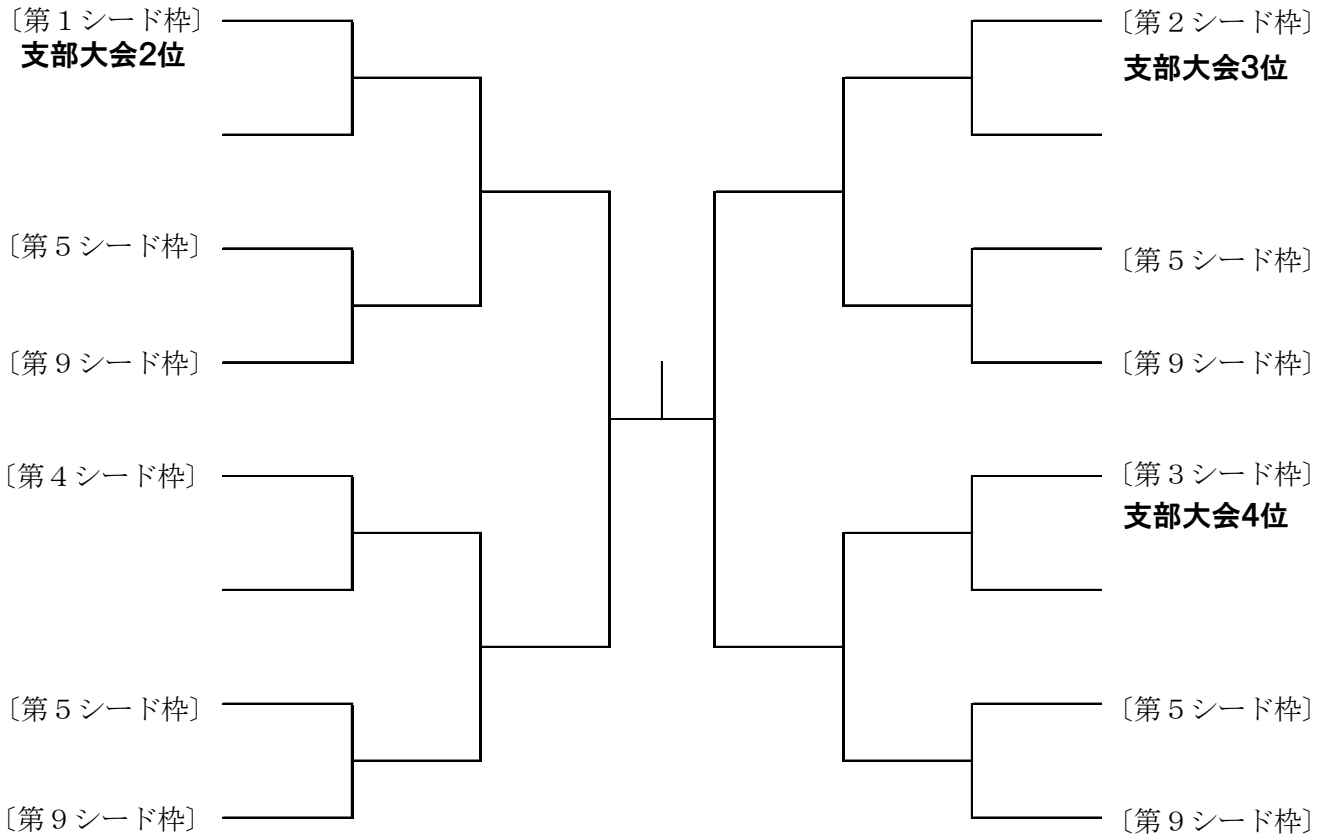
【ベスト16敗退校で決定戦】



* B、H、L、Oが都大会出場

【男子団体戦シード枠】

推薦校がある場合

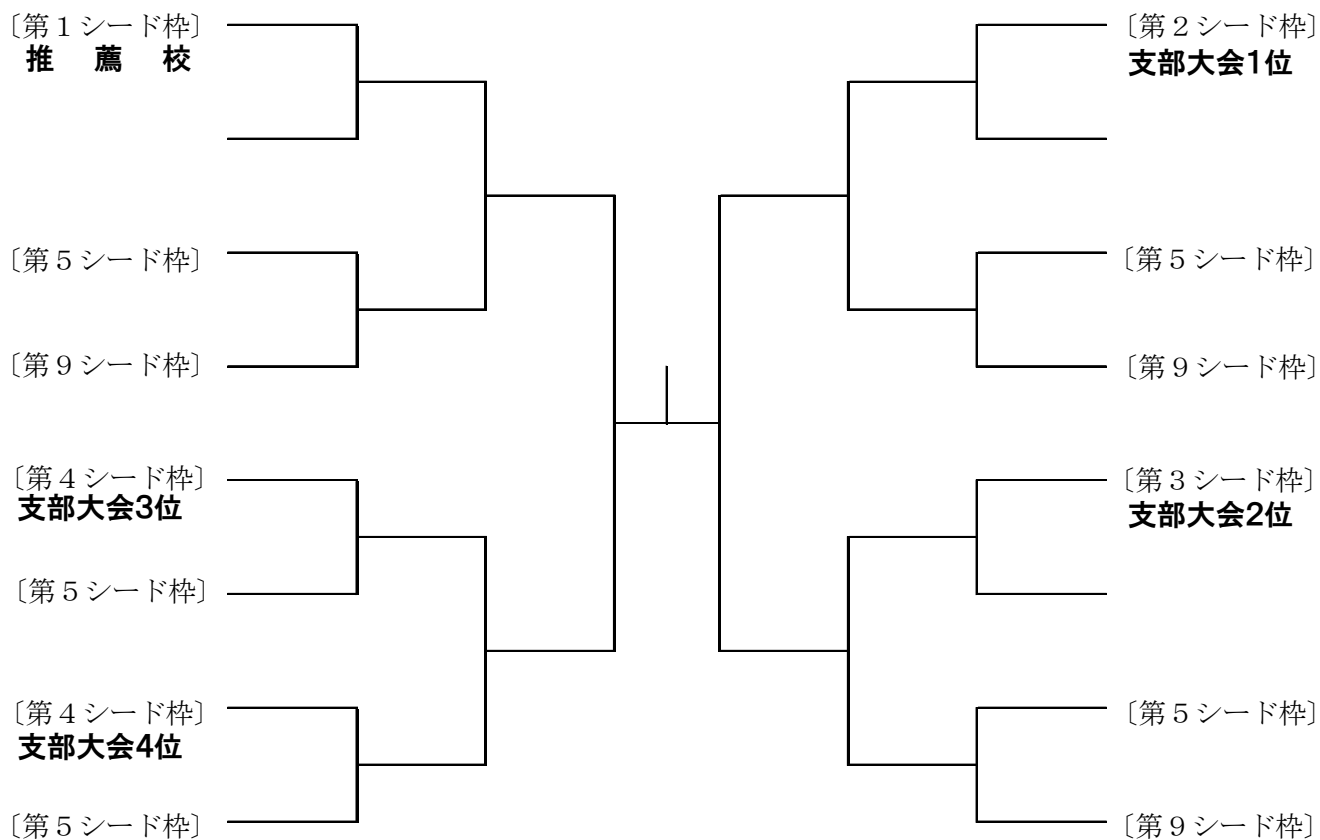


○シート校出方法について

- 1) 第1シートは前大会2位を入れる。
- 2) 第2シートは前大会3位を入れる。
- 3) 第3シートは前大会4位を入れる。
- 4) 第4シートについては、前回大会ベスト8校の4校による抽選で1校を決め、第4シートとする。
- 5) 第5シートについては、4)の抽選で外れた3校及び前回大会ベスト12校の4校による抽選で1校を決め第5シートとする。
- 6) 第9シートについて、5)の抽選で外れた3校を第9シートとし、1枠はフリー抽選とする。

【男子団体戦シード枠】

推薦校がない場合



○シート校出方法について

- 1) 第1シードには前大会推薦校を入れる。
- 2) 第2シードには前大会1位校を入れる。
- 3) 第3シードには前大会2位校を入れる。
- 4) 第4シードには前大会3位・4位校を入れる。
- 5) 第5シードについては、5つのシード枠より抽選で選び決定する。
- 6) 第9シードについては、5)で残ったシード枠及び第9シード枠の3枠の合わせて4枠を抽選で選び決定する。